



■屋外での電気通信設備工事では、高所作業車を使い、安全かつ確実に構築・保守・点検・修理などを行う ■光ファイバーケーブルで家庭やオフィスとNTT東日本の設備を直結し高速・安定したインターネット接続を実現。「NTT等技術認定資格」や「電気通信施工管理技士」(電話・インターネット・LAN・放送設備など電気通信工事現場で工程・安全・品質管理を行うための国家資格)といった資格の取得は会社が受験費用を負担している ■若手社員からレジェンド社員まで幅広い年齢層の社員が意見を出し合い仕事に取り組んでいる。経験やノウハウの共有が次の仕事にも活きてくる ■女性の技術者も活躍中。育休を取得する男性社員も増えてきている ■健康管理ながら社員を一丸にする取り組みで多くの評議を得る

5 健康管理など社員を大切にする取り組みで数々の認証を取得

会社情報

- 設立 1971年12月1日
 - 代表取締役社長 寺門 光一
 - 資本金 3,000万円
 - 従業員数 163名(2026年1月現在)
 - 事業所 (福島市、郡山市、会津若松市、南相馬市)
 - 本社
〒960-8142
福島県福島市小倉寺字中ノ内1-5
TEL／024-521-1612
FAX／024-523-0500
 - 求人対象
高卒 専門卒 短大卒
大卒 中途
 - インターンシップ
可能 [体験期間] 1～3日程度
[申込方法] TEL、E-mailで随時
 - 採用担当者連絡先
TEL／024-521-1612
E-mail／tetsu.watanabe@ttk-g.co.jp

業務內

- 総務部
総務・経理・人事関連業務

- ・屋外にある通信設備の構築・保守・点検・修理等
 - ・携帯電話基地局の無線装置の構築・保守等
 - ・ネットワーク(LAN配線等)の構築(PC,FAX,電話)

株式会社TTKエンジ福島

電気通信工事業、電気工事業、交通誘導警備業



日常に欠かせない通信設備の構築・点検・保守の仕事

上場企業ミライト・ワンに
準じた福利厚生で安心

A group of six young professionals from TTK Engineering Fukushima are posing for a photo in front of their company building. The group consists of four men and two women. They are all wearing blue and grey work uniforms with the company logo. In the background, there is a white utility truck with the company's name and logo on it. The building has a sign that reads "TTK エンジ福島". The group is arranged in two rows, with three people sitting in the front and three standing behind them.

最初はみんなが「新人」「不安を自信に変える教育体制のもとで成長」していく

『NTTエンジ福島』は、1971年の創業以来、55年にわたり通信インフラの整備に取り組んできた。具体的な事業内容は大きく分けて3つ。「一つ目は「NTT東日本の設備工事」。電柱などから通信ケーブルを張り巡らし電話やインターネットが使えるよう回線をつなぐ。二つ目が「通信設備の保守」。大雨・大雪・地震などの自然災害で回線が切斷された際には迅速に復旧を行う。通信設備の復旧は経済活動の維持、安全確保、情報伝達の確保に欠かせない大切なインフラであり、日常的な点検や更新も担っている。三つ目が「通信キャリア」と呼ばれる携帯電話の設備工事。「5Gエリニア」の拡大に向けて、県内各地にアンテナを設け、機械装置の取り付けも行なっている。

現在、通信インフラは、電話やメール、SNSなどのコミュニケーション手段だけではなく、行政サービス、医療現場、ネットバンキング、証券取引、映像配信などあらゆるシーンに欠かせないものになつていて。ＩＴの普及を支える基盤として今後もさらに需要が高まり続ける「将来性のある仕事」だ。ＴＴＫエンジ福島は、通信建設業界で業界トップクラスの規模を誇る上場企業・ミライ・ワン傘下で、のTTKグループであり、福利厚生も充実している。入社した社員はTTKグループの一員として、最初に情報通信の基礎知識をはじめ仕事内容を理解するための研修を受ける。配属後にも手厚いOJTがあるので、仕事は一つひとつ無理なく覚えていくことができる。

ネットワークを使う人から支える人に
地域の通信環境を未来につなごう